

神戸市少年団登山教室山行（3月8日）報告

2025. 3. 10

1. 参加者

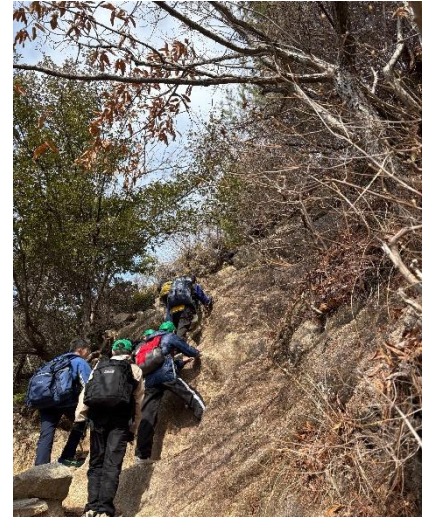
教室生参加者 23名
引率者 岳連理事5名 教員ボランティア1名
大学生ボランティア2名



2. 記録

天気：曇り時々小雪

- 9時10分 阪急芦屋川駅北側広場に教室生集合し出発
途中の公園で、登山の注意と準備体操
- 9時52分 高座の滝 着
- 10時51分 風吹岩 着
- 11時50分 雨ヶ峠 着
- 12時20分 七曲り入口（住吉川上流部）着 昼食休憩
- 12時50分 七曲り入口 発
- 13時40分 一軒茶屋 着
- 14時00分 六甲山最高峰 着
- 14時12分 六甲山最高峰 発
魚屋道を経て
- 15時40分 湯泉神社 着
- 16時10分 湯泉神社 解散



3. 準備物

地図・コンパス・登山教室修了証・記念品（折り畳み箸）

4. 活動内容と感想

天気予報では「曇り後晴れ」だったが日が照ることもなくずっと曇り空で昼頃には小雪もチラついた。ただ、風は強くなく春によくある肌寒い日で山行に大きな支障はなかったのがありがたかった。

阪急芦屋川駅北側の広場に教室生達が集合し午前9時過ぎに出発した。暫く進んだ所にある芦屋川傍の公園で登山の注意と準備体操をする。この日は土曜日で登山客も多く、またトレイルランの大会があり六甲山最高峰からゴールの湯泉神社までの間でコースが重なっているのでお互いに道を譲り合うよう注意をした。暫く進んで高座の滝に到着。トイレや衣服の調整を伝える。そして出発。ここから急坂が始まる。多くの登山者も一緒に登る。険しくゴツゴツした岩の間を頑張って登る。長く続く急坂を一気に登り切って一息入れた。呼吸を整えながら地図で現在位置を確認するよう指示。地形や高压電線などを目安に現在位置を探した。そしてまた登りはじめ午前11時前に風吹岩に到着。ここでもしばし休憩。教室生は岩の上に登り目の前に広がる神戸の



街を見ていた。まだまだ元気だ。休憩を終えまた歩き出す。木々の中を通り、ゴルフ場を横切り、登ったり下ったりしながら雨ヶ峠に到着して小休止。また歩き出して午後0時20分頃に住吉川上流の七曲り入口の河原に到着し昼休憩をとる。日が出ていなくて時々小雪もチラついて寒かった。教室生は住吉川の川べりや林の中など思い思いの場所で一緒に昼ごはんのひと時を持った。寒くてもみんなと一緒に食べる昼ごはんは格別。楽しそうに思い思いの昼食を食べていた。午後1時前に七曲りを登りはじめる。今回の山行で一番長い登りを気合を入れてゆっくりゆっくり登る。風化した岩の間を注意しながら登り、不ぞろいの木や石の階段を息を切らせながら歩を進めた。少し遅れる教室生もいたが午後1時半過ぎ一軒茶屋傍の広場に到着。小休憩してから最後の登りである六甲山最高峰までの登り坂を進む。午後2時に六甲山最高峰の記念碑前に到着。日は出ていなくても頂上を踏むのは気持ちがいい。みんなで記念撮影をして魚屋道を有馬の湯泉神社を目指して下り始める。このころからトレイルランのランナーが我々の横を走り抜けるようになった。お互いに声を掛け合い、進路をよけるなどして注意し合った。特に問題もなく一緒に早春の六甲山を楽しめて良かったと思う。魚屋道にある東屋で出迎えと合流して一緒に湯泉神社に下りる。湯泉神社では多くの保護者の方々や神戸市スポーツ協会の方々に迎えに来られていた。教室生全員のゴールを待って今年度少年団登山教室の修了式を持った。この少年団登山教室に3年間連続で参加した教室生、今年度の11回の登山教室に皆勤の教室生4人を紹介して大きな拍手がわく。また3月8日が誕生日の教室生にみんなでお祝いの大きな拍手。登山教室最後の山行を終えて大きな達成感と満足感に満ちた子供達のにこやかな笑顔に我々も大きな喜びを得た。来年度もまた新しい教室生を迎えて登山教室を続けてゆきたい。

文責 大西

